

# すみた 議会だより



No.169

令和2年  
4月24日



「みてみて、  
上手にみがけるよ！」

《有住保育園》 関連記事20p

持続可能なまちへ

課題見据え新たな挑戦

令和2年度注目・目玉事業

我が町政を問う（5議員が一般質問）

追跡レポート 空き家の活用

新企画 すみた想い人

②

④

⑧

⑩

⑱

⑲



# 一步先を見据えて

## 令和2年度重点施策

## — 3つの柱 —

# 医

### 健康まちづくり推進

- 防災・医療体制の充実
- 高齢者生活福祉センターの改修

# 食

### 食産業の推進

- 農をつなぐプロジェクトによる農業の担い手育成
- 農林商工連携による商品開発や販路拡大

# 住

### 住まい環境の改善

- 子育て世帯・高齢者に配慮した町営住宅の新築
- 上有住地区公民館の新築

3月議会は、2月25日から3月6日までの11日間の会期で開かれました。町長施政方針演述、教育長教育行政演述の後、5議員が登壇し一般質問。

その他、元年度補正予算、条例の改正、町道路線の認定、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更、人権擁護委員の推薦意見、2年度当初予算などを審議し、全議案を原案のとおり可決しました。

## 町長施政方針（要旨）

本町の令和2年度一般会計予算案の総額は、50億円であり、前年度より2億4700万円増加しております。これは、上有住地区公民館の建て替え、町営住宅の整備、高齢者生活福祉センターの改修に係る工事費の計上に加え、簡易水道事業会計及び下水道事業会計への繰出金の増加が主な要因となります。

持続可能なまちづくりとは、現状を保つことではなく、新たな課題に対応するために常に一步先を行くということだと思えます。常に新たな挑戦に立ち向かう大きな志がなければ、町政の発展は望めません。しっかりと現状を把握し、そこから導き出される課題に対応した施策を実行する『根拠に基づいた政策運営』が大切であります。

（詳しくは3月27日号「広報すみた」をご覧ください）



△令和2年度施政方針演述する神田謙一町長

# 元年度補正予算を可決

## 一般会計7849万円増額

### 学校にICT環境整備

**問** 小・中学校へのICT環境整備事業の内容は。

**答** 学校内の情報通信環境整備に充てるもの。どの教室からでもパソコン、タブレットが

使えるようにするためのLAN配線工事費、児童・生徒1人1台のパソコン、タブレット購入

は、2年度の6月補正で予算措置の予定。機種の設定は、国の基準による。

### 畜産競争力強化整備

**問** 畜産競争力強化整備事業の内容は。

**答** ブロイラー事業の産地強化をねらい

に、今回は鶏糞の堆肥化施設を建設しようとするもの。

### 森林環境譲与税の見通しは

**問** 森林環境譲与税は、今回の補正で84万円増額され、1374万円となったが、見通しは。

**答** 2年度から地方公共団体金融機構の

準備金を活用することで、配分ペースが速まり、2年度予算では2800万円となる。

### 町道路線の認定

●路線名 火石1号線  
(旧国道340号)  
(世田米字火石  
5番1〜33番28)  
844.2m

### 人事案件に同意

[人権擁護委員]

菅野義光さん

世田米(新任 66才)

### 選挙管理委員及び同補充員の選挙結果

3月議会で次のように決まりました。

#### 1 選挙管理委員

氏名	住所
高橋美枝子	下有住十文字106番地
紺野 敏郎	世田米字竹ノ原58番地
泉田 静夫	世田米字清水沢7番地3
佐々木邦夫	上有住字二度成木145番地

#### 2 同補充員

氏名	住所
佐藤 鉄男	世田米字暇畑9番地2
高橋サチ子	上有住字下寒倉166番地
大和田文雄	世田米字田谷16番地
水野 司	下有住字新切41番地

### アールスの改修工事

**問** 高齢者生活福祉センター(アールス)の改修工事の内訳は。

**答** 築後20年以上経過している。大規模改修が必要との判断から設計委託したもの。主な

ものは、ホール天井、車いすトイレ、排煙窓、風呂のボイラー機器更新、照明のLED化など。ホールのエアコン設置も検討している。

### 国保保険者努力とは

**問** 国保特別会計歳入における、保険者努力者支援分の交付金算出基準は。

**答** 保険者である市町村の医療費軽減な

どの努力分に交付されるもの。糖尿病の重症化予防、保険税収納率対策、データヘルス計画策定、レセプト点検などの経費が対象となる。

### プレミアム券の利用実績

**問** プレミアム付商品券の利用実績は。

**答** 非課税世帯の対象者は1340人で購入者は454人。子育て世帯の対象者は77人で購入者は53人。利用実績は全体で35・8%。



△町道認定となった火石1号線

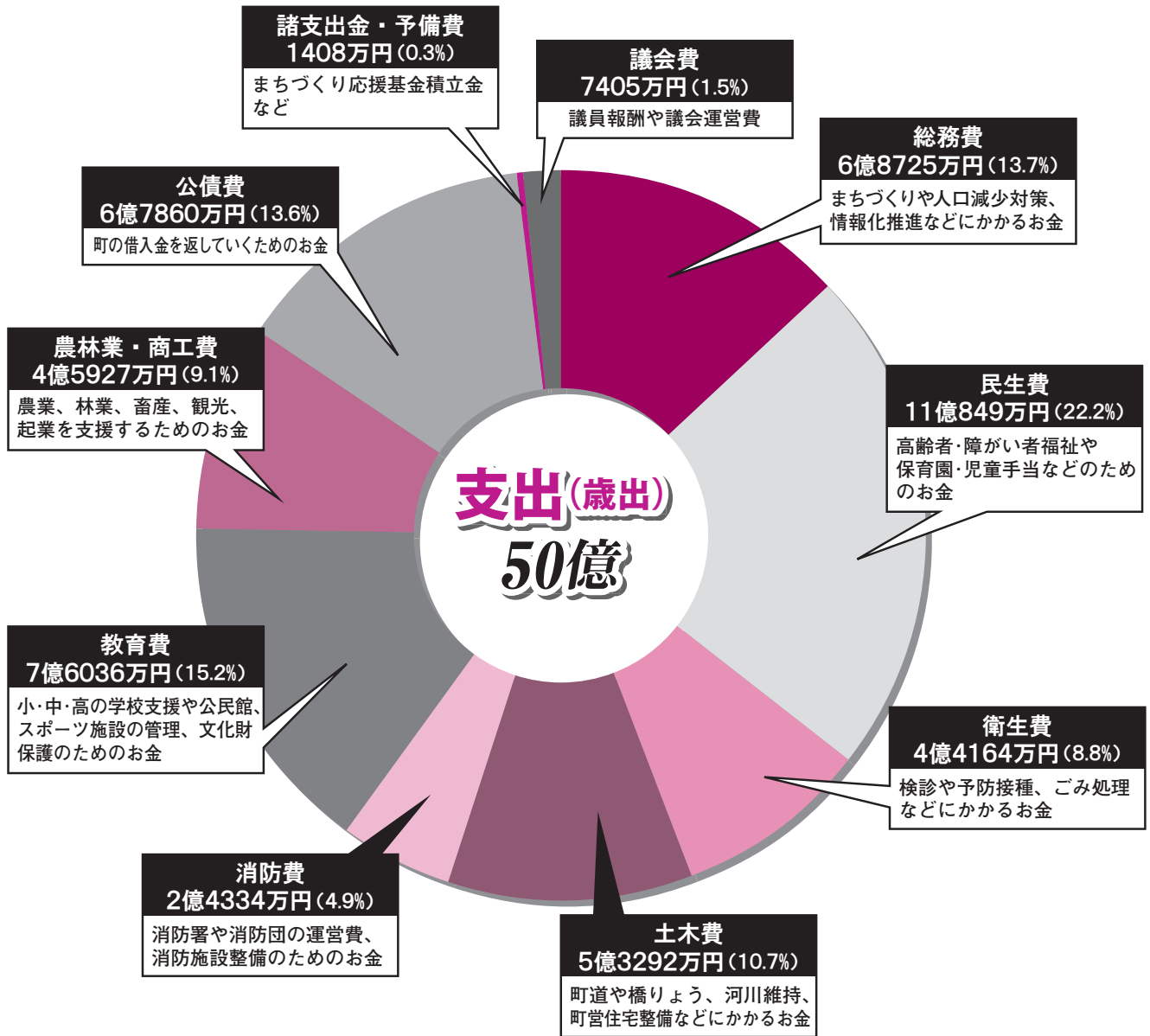
# 新たな挑戦

地域住民の活動拠点

## 上有住地区公民館新築



予算  
審査



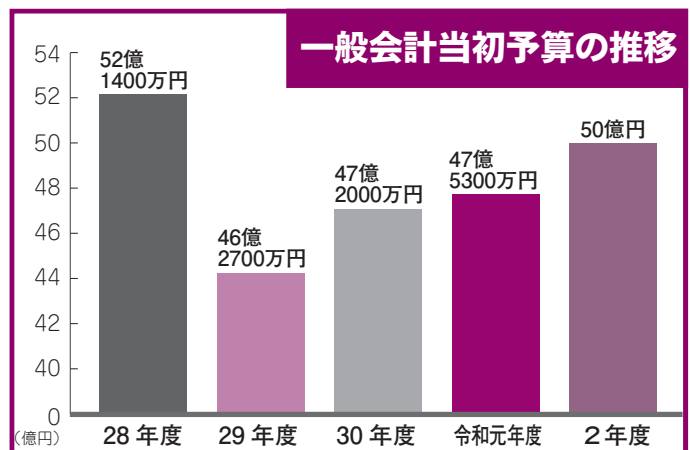
令和2年3月末日現在人口 5,315人

町民一人あたりの行政経費（一般会計）

### 940,734円

一人あたりの町税額は  
(町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税など)

### 91,404円





# 一般会計予算

# 50億円

前年度対比5.2%増

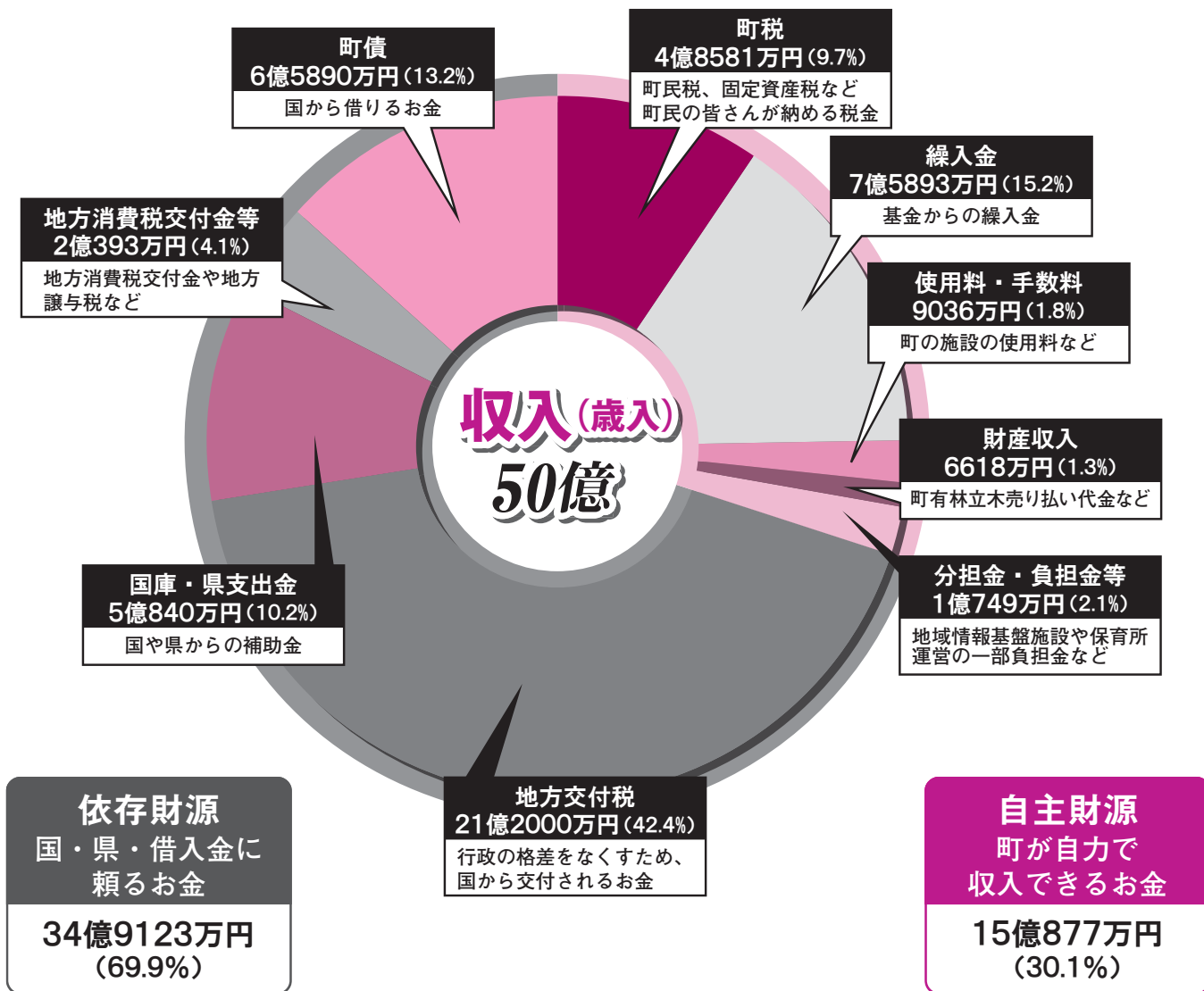
# 課題見据え

## 子育て世帯 町営住宅新築 高齢者に配慮

令和2年度の一般会計予算は、歳入歳出の総額がそれぞれ50億円となりました。

元年度と比較して2億4700万円、5.2%の増となります。町営住宅や上有住地区公民館整備等に伴い増加したものです。

予算  
審査



■特別会計 (支出額)	
会計名	予算額
国民健康保険	6億7762万円
介護保険 (保険事業)	10億2827万円
介護保険 (サービス事業)	260万円
後期高齢者医療	7333万円
計	17億8182万円

■水道事業会計	
会計名	予算額
収益的支出	1億5323万円
資本的支出	1億4879万円

■下水道事業会計	
会計名	予算額
収益的支出	1億5040万円
資本的支出	4494万円

# 予算審査

## 地域課題 巡り論戦

ここが  
聞きたい

### 特別委員会

令和2年度の一般会計及び各種特別会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計は、予算審査特別委員会（委員長：佐々木春一議員）で審議しました。

町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

#### 予算審査

##### 企画財政課

###### 婚活支援金を創設

**問** 婚活に対する支援の内容は。

**答** いきいき岩手結婚サポートセンターの入会登録料と大船渡市の結婚相談・支援センターへの入会金及び登録料のうち、選択したどちらか一方が全額支援される。

**問** 仮設住宅の解散式の内容は。

**答** 応援していただいた民間団体の方を招き、仮設最後の見学会やこれまでの取り組みの報告などを考えている。

##### 町民生活課

###### 大股にコミバス運行を

**問** 大股地区の民間路線バス廃止対策は。

**答** 10月からのコミュニティバス大股方面運行開始に向け、地域への説明、地域公共交通会議における合意形成など準備を進めていく。

**問** 町のコミュニティバスの利用状況は。

**答** 川口上有住駅線では1便当たり3人、八日町遠野駅線では5人程度の利用で、年々減少している。公共交通を考える上で利用率は重要であるが、コミュニティバスの目的とするところは、住民の足の確保であり、総合的に考える必要がある。

##### 総務課

###### 消防団の組織再編は

**問** 消防団の組織再編は。

**答** 副団長をキャップとする委員会を立ち上げ、今後検討する。2年度は現状どおりとなる。

##### 保健福祉課

###### 検診データを健康指導に

**問** 国保データベースシステムに基づく検診データ分析結果の活用は。

**答** 特定検診結果等のデータを地区ごとに分析し、地域に入り具体的な健康指導にあたりたい。モデル地区を設定した取り組みも必要と考えている。

**問** 教育委員会で一括して、地域コミュニティ政策を担うことになるが、各課横断的な取り組みを進めていく。

**問** 今後の地域づくりの推進体制は。

**答** 教育委員会で一括して、地域コミュニティ政策を担うことになるが、各課横断的な取り組みを進めていく。

##### 保健福祉課

###### 検診データを健康指導に

**問** 国保データベースシステムに基づく検診データ分析結果の活用は。

**答** 特定検診結果等のデータを地区ごとに分析し、地域に入り具体的な健康指導にあたりたい。モデル地区を設定した取り組みも必要と考えている。

**問** 生活支援コーディネーターの配置計画は。

**答** 生活支援コーディネーターは現在、社会福祉協議会に1名を配置している。2年度は2名配置したい。地域の高齢者に関わる生活支援など相談活動を担ってもらいたい。



# 住民が主役の協働のまちづくりを

予算審査特別委員会  
委員長 佐々木 春一

令和2年度予算は、「医・食・住」の充実を重点施策として総合計画に盛り込み、将来を見据えながら、着実に歩みを進めるための各種施策の方向性が示された。

婚活や移住・定住支援、コミュニティバスの運行、子育てや学校教育環境、訪問看護や健康づくり、担い手育成など農林業の振興、滝観洞の再開発など観光振興、消防防災体制、小さな拠点づくりなど多様な質疑が交わされた。

審査の結果は、各予算が賛成全員で原案どおり可決された。

町民の声をよりどころに、住民が主役の協働のまちづくりの推進を期待する。

## 農政課

### 新たな鳥獣被害対策は

**問** サルやイノシシの出没もひろがっている。鳥獣被害対策は。

**答** 鳥獣被害対策実施隊による有害捕獲と防護網や電気牧柵の設置を継続していく。今後は、国の事業を活用し生息調査も実施しながら鳥獣被害対策に努める。鳥獣対策専門員の設置は、今後の取り組みと併せて関係機関と検討していく。

**問** 経費を2分の1以内で支援する。経営計画は関係機関とともに作成する。

**答** 広域でのインバウンド（外国人観光客）対策は、沿岸南部2市1町のプロモーション事業とそのツール制作、外国人観光客向けの観光ルートの開発をしている。元年度は、台湾が中心であったが、2年度は、欧米も対象に取り組みたい。

## 建設課

### 町営住宅新築予定

**問** 町営住宅を新築するとしているが、戸数や入居対象は。

**答** 清水沢地区に、住み替え用の単身用住宅4戸、子育て世帯住宅2戸。火石地区に、住み替え用の単身用住宅3戸を建築する。住み替え用住宅は高齢者に配慮した形で設計した。

**問** 企業会計移行に伴い簡易水道料金の見直しは。

**答** より正確な原価計算をするため、2年度の決算を確定してからと考えている。経営だけでなく社会的、福祉的な役割も果たしていることを踏まえながら、適切な料金を検討したい。

## 賛成討論

### 諸施策の意欲を評価

佐々木 初雄 議員

住民サービスを継続するため、上有住地区公民館や町営住宅の整備、高齢者福祉センターの改修などを盛り込んでいる。

農をつなぐプロジェクト、未来に向けた森林経営、継続を目指す地域創造学、明るく豊かに楽しむ健康とスポーツの推進など、総じて限られた予算の中で優先度に応じた配分で住民の福祉向上に向けて諸施策に意欲を感じると評価し賛成する。

## 教育委員会

### 栗木鉄山の国指定は

**問** 栗木鉄山跡整備事業の内容は。

**答** 発掘や測量調査がなく、予算は縮小しているが、調査報告書を作成し、いよいよ国指定に向けた具申書類を取りまとめることになる。

**問** 2年度は3人の教育コーディネーターの配置を予定している。

**答** コーディネーターは住田高校の魅力向上や地域創造学の企画運営に係る学校間調整、住高ハウスの運営を担っていただく。

## 林政課

### 森林管理に航空レーザー

**問** 航空レーザー測量の活用は。

**答** 森林の材積や等高線の入った山の地形などが把握でき、森林

の適正な管理に利用できる。森林管理制度事業の推進状況を見ながら地域ごとに実施していく。

**問** 教育コーディネーターの設置人数と活用は。

**答** 住田高校PR用ポスターやリーフレット

**問** 住田高校PR用ポスターやリーフレット

**答** 住田高校の生徒募集で活用する。2年度も新たなデザインを考えている。県外の生徒募集にも活用していきたい。





1595  
万円

### 空き家活用住宅整備

空き家を活用し、町内居住希望者の住宅を確保し、定住促進を図ります。



2281  
万円

### 森林経営管理制度事業

航空レーザー測量による森林資源など詳細な把握を実施し、林業振興につなげます。



296  
万円

### 滝観洞再開発事業

老朽化した滝観洞観光センターを含め周辺エリアの今後のあり方を検討します。



2786  
万円

### シカ等有害捕獲

シカなど鳥獣被害対策として鳥獣被害対策実施隊による有害捕獲に取り組みます。



2億  
6747  
万円

### 上有住地区公民館整備

地域の活動拠点である上有住地区公民館を新築します。

※予算額は万円未満は切り捨て



# 令和2年度 予算

# 注目★目玉 事業

3月議会では、予算審査特別委員会で予算案を審議し可決しました。(P4～7に関連記事)

その中で、議会が注目した事業を紹介します。

予算額は、令和2年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。



## 住田高校魅力化推進

教育コーディネーターの設置などにより、住田高校の魅力向上存続に向け生徒数の確保を図ります。



## 町営住宅整備

子育て世帯や高齢者に配慮した町営住宅9戸分を新築し、定住促進を図ります。



## 高齢者生活福祉センター改修

上有住八日町の築後20年の高齢者生活福祉センター（アンルス）を利用者が快適に過ごせるように大規模改修します。



## 放課後児童健全育成

放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。

# 一般質問



# 我が町政を問う

## 5人の議員が質問

## 総合計画・農林業・教育 新型コロナなどで論戦

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
11	水野 正勝	① 保育環境の充実 ② 社会体育施設の充実と利用
12	荻原 勝	① 次期「住田町総合計画」 ② 「世小の森公園」の利活用
13	阿部 祐一	① 林業の振興 ② 産業の振興
14	佐々木春一	① 新年度の主要施策と行財政運営 ② より良い教育環境の整備
15	村上 薫	① 令和2年度町長及び教育長の方針演述 ② 新型コロナウイルス感染症対策 ③ 公文書管理条例の制定

なお、全文記録（議事録）は、5月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、事務執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は、答弁を含めて60分です。



# 問 病児・病後児保育を

## 答 近隣自治体との連携で

**問** 保育園における病児・病後児への対応は。

**答** 教育長

現在、両保育園で受け入れはしていない。体調不良があれば、保護者に連絡し、通院や家庭での看護をお願いしている。

施設が設置されている近隣自治体等との連携を検討している。

**答** 教育長

正規保育士に加え、臨時の保育士や看護師、保育補助を採用して基準以上の体制で保育事業にあたってはいる。県内の保育士を養成する学校を訪問し、人材の確保に努めている。住田高校においては、森の保育園のボランティア参加により保育士養成にもつなげている。

**問** 訪問型の病児・病後児保育サービスに取り組んではどうか。

**答** 教育次長

新たな人員確保が必要のため、現状では難しい。

配置状況と人材確保の

保育士や看護師などの

**問** 病児・病後児保育への取り組みを検討しては。

**答** 教育長

既に病児・病後児保育

の配置状況と人材確保の

保育士や看護師などの



まさかつ 正勝 議員  
みずの 水野

我が町政を問う

# 問 トレーニング室の多目的利用を

## 答 ニーズを把握し検討

**問** 生涯スポーツセンターにトレーニング機器などを整備しては。

**問** 社会体育館のトレーニング室にトレーニング機器などの設置予定は。

**答** 教育長

**答** 教育長

新たな機器の設置は難しい。既存の機器の保守点検や修繕を行いながら使用不能となった機器の更新を図っていきたい。

各種大会等の選手のウォーミングアップや待機場所等として活用している。機器の設置は難しい。

**問** 社会福祉協議会においてトレーニングルームの活用事業を検討している。町も連携して取り組んで。

**問** 社会体育館のトレーニング室を鏡張りに改修し、ダンスや健康体操など多目的に利用しては。

**答** 保健福祉課長

**答** 教育次長

現在、社会福祉協議会と事業の組み立てなどを協議している。

ニーズの把握に努め、各種団体とも相談し検討していきたい。



△生涯スポーツセンターに設置されているトレーニング機器

# 問 次期総合計画の重点は

## 答 医・食・住で共生の町へ



おぎわら 荻原 まさる 議員

我が町政を問う

**問** 現総合計画の成果と課題をどう捉えているか。

**答** 町長 町民所得がほぼ目標並みに推移していることなどが成果である。人口が目標を下回るペースで減少を続け、出生数や社会増減、移住者、児童数1学年40人の目標が達成できていないこと、住民満足度が大幅に目標を下回っていることが課題と捉えている。

**問** 次期総合計画では何を重視していく考えか。

**答** 町長 現計画の成果と課題を踏まえ、人口減少の抑制に目標を置きつつ、住民の暮らしの要である「医・食・住」に重点的に取り組み、支え合う共生の町の実現を目指す。

**問** 次期計画の分かり易さはどのような点か。

**答** 町長 構成のスリム化、単純化、目標値の再設定、事業の再構築等をしている。

**問** 次期計画の長期目標人口と短期目標人口はどのように設定され、その扱いはどうなるのか。

**答** 町長

長期目標人口は、人口ビジョンの2040年4000人の目標人口を掲げた。人口減少に立ち向かっていく町のスローガンとしての性格を持った目標。短期目標人口は、次期計画期間の最終年度の2024年の目標人口で、長期目標人口から推計し4927人と定めた。

## 問 世小の森 景観を良く

## 答 地域住民と共に

**問** 世小の森公園は、国道340号等の工事、地形的にも景観的にも大きく変わった。整備計画を策定する考えはないか。

**答** 町長 現時点で整備計画はない。地域の方々の考えのもと今後の活用方法等の検討を進めていくことでよりよい活用ができるものと考えている。

**問** 町として地域住民による継続的な管理を支援すべきではないか。

**答** 町長 町では、週2回の頻度でトイレなどの清掃を行っている。世小の森公園も他地域と同様、地域や利用される方の自主的な環境整備により、協働の取り組みが進められているものと捉えている。町としても可能な対応はしていきたい。



△景観に変化が見られる「世小の森公園」



# 問 木質バイオエネ普及を

## 答 未利用間伐材収集に着手

**問** 木質バイオマスエネルギー普及のための具体的な施策にどのような取り組みが組むのか。

**答** 本システムの事業主体と進捗状況は。

年度中の本格運用を目指す。

**問** 本システムの貯木場や施設等の整備は。

**答** 林政課長  
世田米の中沢にある森林組合の土場に集積することになる。集積した材の重量を測るトラックスケールは、既に補助事業を活用し購入している。

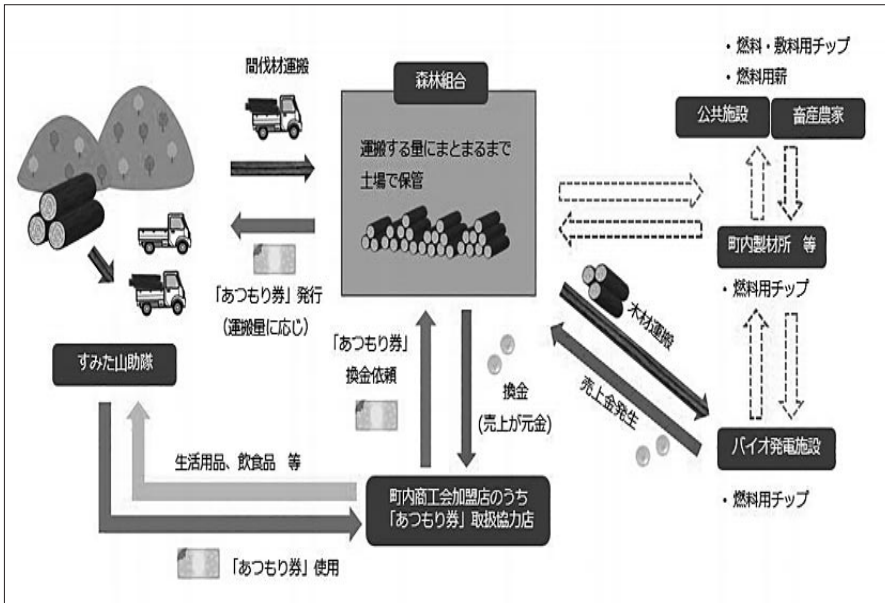
**答** 町長  
森林資源活用プロジェクトの一環として、木質バイオマス資源の収集、運搬を目的とする町民参加による未利用間伐材等の収集システムの構築の検討を本格化している。

事業主体を森林組合とし、間伐材等を運び出すグループ「住田山助け隊」を設立し、協力者の募集を始めること、地域通貨券「あつもり券」を作り森林組合が発行を管理することなどが決まってきた。今後も検討を進め



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

我が町政を問う



△未利用間伐材などの収集システム。地域通貨券「あつもり券」が利用される

# 問 観光・物産拠点構想は

## 答 採算性が大きな課題

**問** 住田町の生産物の流通、販売や観光連携の拠点となる物産館建設構想の進捗状況は。

**答** 町長

物産館は、観光協会が主体となり、検討を重ねた住田町観光プラットホームの中で提案された。本年度は、事業の取りまとめを行っている観光協会から企画提案書が提出された。具体的な数値に基づいた経営計画について協議を重ねてきたが、建設運営における採算性が大きな課題と考えている。

持続可能な取り組みとなるよう関係者と協議しながら一緒に進めていきたい。

- ※その他の質問
- ・ 農業振興策
- ・ 鳥獣被害対策
- ・ ふるさと納税制度推進

# 問 暮らしを支える町政に

## 答 住民との信頼を構築



ささき はるかず  
ささき 春一 議員

我が町政を問う

**問** 令和2年度は、新たな総合計画の初年度である。町民の暮らしを支える行財政運営の考えは。

**答** 町長  
人材や財源、財産といった限られた経営資源を最大限に生かし、質の高い住民サービスの提供と共生のまちづくりを推進するため、住民と行政の信頼関係を構築していく。

**問** 災害対応を見据えてマンパワーの確保が求められているが。

**答** 総務課長  
特に、建築土木系の職員の確保が難しい状況にある。今後も継続して募集をしていく。

**問** 簡易水道事業は、当町にふさわしい水道計画が重要であるが、その方策は。

**答** 町長  
水道施設の長寿命化対策と簡易水道事業経営戦略により、経営健全化に取り組み、将来にわたって安定した水の確保に努めていく。

**問** 漏水などの対応策は。

**答** 建設課長  
漏水などの緊急時の対応は、監視システムの警報を受けて建設課職員が初期対応にあたっている。

**問** 簡易水道事業エリア以外の地域対応は。

**答** 建設課長  
飲料水施設整備事業補助金の利用を進めている。

**問** 2年度より町内に風力発電の設備工事が始まる。町再生可能エネルギービジョンにどう生かしていくか。

**答** 町長  
民間事業者の提案、取り組みに協力。地域住民に対する地域貢献など、地域経済や産業、地域活性化に繋がることを期待。

## 問 先生の勤務体制は

## 答 子どもとの時間大切に

**問** 学校における教員の变形労働時間制を導入可能とする法案が成立した。その対応は。

**答** 教育長  
学校の働き方改革の環境。部活動や生徒指導など勤務の現状や時間外勤務時間の適正な把握、メンタルヘルス面のチェック等も関連することから慎重に進める。

※教員の变形労働時間制  
学校における働き方改革のため、教育職員に1年単位の变形労働時間制を条例で定め実施する。  
①夏休み中の長期休業期間に休日のまとめ取りを可能とする。②超過勤務時間の上限を1月に45時間以内、1年360時間以内と定める。

※その他の質問  
・児童生徒数減少対応



△町民サービスの提供と相談の窓口



# 問 新型コロナウイルス対策は

## 答 対策本部を設置

**問** 新型コロナウイルス感染症に対する町の対応は万全か。

**答** 町長

2月18日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置した。相談窓口の充実や町民への情報提供に努めるほか、要援護者への生活支援及び蔓延防止に関する措置など対策に取り組んでいる。

**問** 町内で感染者が出た場合どのような対応になるのか。

**答**

大船渡保健所の指導に基づき対応することになる。

**問** 感染者に対し、町の業務継続計画（BCP）は対応できているのか。

**答**

業務継続計画における感染症教育・訓練は定期的に開催している。

**答** 町長

今回の感染症については、町新型コロナウイルス感染症対策行動計画及び同業務継続計画に沿った考えで業務継続することになる。

**問** 業務継続計画における感染症教育・訓練は定期的に開催しているのか。

**答**

国などから高齢者や介護施設における感染対策マニュアルがあり周知している。

**答** 保健福祉課長

今後、初動体制や対応訓練を行っていかねばならない。

**問** 新型コロナウイルスは、高齢者や基礎疾患を有する方が重症化し易い。高齢者や福祉施設への助言指導をどのように行っているのか。

**答** 保健福祉課長

国などから高齢者や介護施設における感染対策マニュアルがあり周知している。

※業務継続計画（BCP）  
災害等の発生時にあっても町が適切な業務執行を行うための取り組みをあらかじめ定める計画。

# 問 教育環境スケジュールは

## 答 4年度に具体的方向性

**問** 教育環境整備について、「2年度中に一定の方向を示したい」としている。その内容は。

**答** 教育長

学校の統廃合を含む教育環境の整備については、2年度に各学校PTAに対する説明や保育園保護者から各学校PTA、住民を対象としたアンケート調査を実施し、それらの意見を参考に一定の方向性とスケジュールを示したい。4年度までに方向性を固め、5年度からの次期教育振興基本計画に搭載し整備への具体的な動きにつなげたい。

※その他の質問  
・根拠に基づく政策運営  
・公文書管理条例の制定



△生徒数の減少が進む中で、教育環境整備は将来を見据えた議論が望まれる。



村上 村長  
かおる 議員

我が町政を問う

# 滝観洞のあり方検討

## 築後48年観光センター 老朽化への対応が急務



△当初計画では、浄化槽整備の更新のみを盛り込んでいたが、昭和46年に建設された滝観洞観光センターの更新が計画された

**「変更の理由」**  
 施設滝観洞の洞内安  
 全対策及び浄化槽設置  
 事業並びに滝観洞観光  
 施設改築事業を見込ん  
 だ辺地事業債予定額の  
 増額。

**「再開発事業費を計上」**  
 2年度の一般会計予  
 算に滝観洞再開発に関  
 する事業費を計上。利  
 便性確保と効率性の両  
 面から検討に入る。

国内屈指の洞内滝を  
 有する鍾乳洞として知  
 られる滝観洞は、本町  
 の重要な観光資源で、  
 施設は、住田観光開発  
 株が管理している。  
 令和元年3月には、  
 東北横断自動車道釜石  
 秋田線の釜石花巻間が  
 全線開通し、平成20年  
 に供用を開始していた  
 滝観洞インターチェン  
 ジと併せて滝観洞観光  
 センターへのアクセス  
 環境が改善されたこと  
 により、個人客が増え、  
 元年度は9年ぶりに入  
 洞者が1万人を超え、  
 今後観光振興が期待さ  
 れる。

町や施設を管理する  
 住田観光開発株、地元  
 住民も交えて協議・検  
 討していくとしている。

**「死亡獣畜取扱場設置管理に関する条例の廃止」**  
**「廃止の理由」**  
 各事業者による死亡獣  
 畜処理ルートが確立さ  
 れ、死亡獣畜取扱場(上有  
 住新田地内)での埋却の  
 実績、需要がない。

**「まちづくり応援寄附条例の一部改正」**  
**「改正の理由」**  
 まちづくり応援寄附金  
 を財源として行う事業の  
 区分を、17の政策分野の  
 取り組み方向と整合させ  
 る。

**「町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正」**  
**「改正の理由」**  
 昭和31年建築した下  
 有住中上団地の5戸を  
 2戸廃止し3戸にする。

**「定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例の一部改正」**  
**「改正の理由」**  
 空き家第3号を追加  
 する。  
 ・所在地：世田米字世  
 田米駅10番地1  
 ・構造：木造2階建  
 ・面積：延べ124.22㎡  
 ・月額家賃：4万5000円

**「道路占用料徴収条例の一部改正」**  
**「改正の理由」**  
 道路占用料単価を、  
 県に準拠し改訂する。



**「簡易水道事業給水条例の一部改正」**  
**「改正の理由」**  
 給水装置工事事業者  
 の指定に係る更新申請  
 手数料1件につき1万  
 円を徴収する。

**「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正」**  
**「改正の理由」**  
 放課後児童支援員認  
 定資格研修の実施者(指  
 定都市の長)並びに支  
 援員の要件に、教職員  
 免許状を有する者及び  
 5年以上放課後児童健  
 全育成事業に従事した  
 もので、町長が適当と  
 認めた者を定める。



# 令和2年3月議会提出議案 30件

(当初予算6件、条例12件、補正予算6件、その他6件)

議案1号～6号 令和2年度各会計当初予算は、4～9ページに記載しています。

議案7号～12号 令和元年度各会計補正予算は、下表のとおり。

議案13号 死亡獣畜取扱場設置管理に関する条例の廃止

(16ページに掲載)

議案14号 各種団体活動円滑化資金貸付基金条例の廃止

議案15号 まちづくり応援寄附条例の一部改正

(16ページに掲載)

議案16号 定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例の一部改正

(16ページに掲載)

議案17号 国民健康保険税条例の一部改正

議案18号 簡易水道事業給水条例の一部改正

(16ページに掲載)

議案19号 町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正

議案20号 町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

(16ページに掲載)

議案21号 道路占用料徴収条例の一部改正

(16ページに掲載)

議案22号 道路法等の適用を受けない公共用財産の管理に関する条例の一部改正

議案23号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(16ページに掲載)

議案24号 監査委員条例の一部改正

議案25号 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更協議

議案26号 岩手県市町村総合事務組合の財産処分協議

議案27号 町道路線の認定 (3ページに掲載)

議案28号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

(16ページに掲載)

諮問1 人権擁護委員の推薦に関する意見

(3ページに掲載)

選挙 住田町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

(3ページに掲載)

## 令和元年度各種会計補正予算

(審議の内容は3ページに掲載)

項	目	補正前の額	補正額	計	
議案第7号	一般会計	47億6736万円	7849万円	48億4585万円	
議案第8号	特別会計	国民健康保険	△3480万円	7億3073万円	
議案第9号		簡易水道	1億2407万円	3億7495万円	
議案第10号		下水道	8859万円	1139万円	9998万円
議案第11号		介護保険	10億1084万円	△1500万円	9億9584万円
議案第12号		後期高齢者医療	7097万円	229万円	7326万円

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

## 空き家の活用

### 質問

### 空き家活用で人口減少に歯止めを

人口減少が進み、空き家が増える一方であり、実態把握と活用を考えるべき。

空き家を有効活用し、定住者を増やすための住まいを確保することで、人口減少に歯止めを。

### 答弁

### 条例を制定し住宅整備

「定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例」を定め、町内に居住を希望する者の住宅を設置し、定住促進を図る。

その後

### 3戸の住宅を整備

定住を希望される方の住まい確保のため、空き家を改修した「定住促進空き家活用住宅」を整備。平成30年度に2棟、令和元年度に1棟を整備した。



△令和元年度に手掛けた住宅改修の内装



# すみた想い人



△買い物ツアーに参加した大股の皆さん

町民の皆さんに登場していただく新企画がスタートします。  
町や議会に対してのご意見、活動をおとした「まちづくり」に対しての想いをご紹介します。

紺野和美さんは、大股地区公民館で集落支援員、公民館主事として大股地域の小さな拠点づくりにがんばっています。明るさいっぱい地域に親しまれ活躍されています。

## 「スマイルおおまた」で 買い物ツアーを企画

**Q** 今、活動していることは。

**A** 大股地区公民館の主事、また地域協働組織「スマイルおおまた」大股地区振興協議会の事務局として、地域づくり活動にかかわっています。

**Q** 買い物ツアーを始めたきっかけは。

**A** 大股では、人口減少と高齢化に伴い、地区の商店が閉店したところにより、買い物に不便な方が増えてきました。住民へのアンケートや聞き取り調査で、多くの要望がありました。

**Q** 町社会福祉協議会とタイアップするところができて良かったですね。

**A** 社会福祉協議会に相談したところ、地域福祉活動の一環とし

て共同で取り組むことになりました。デイサービスの送迎バスの空き時間を利用することになり、心強かったです。

**Q** 今後の地域活動のあり方にご意見があれば。

**A** 人口がますます減少すると、イベントの運営が難しくなります。いま以上にサポートしていただきたいと思います。

**Q** 町や議会に望むことは。

**A** 他の地域でも外出が困難な高齢者が増えるなど、町挙げての支援を考えて欲しいと思います。



大股地区公民館  
主事 紺野 和美さん

## 議会を傍聴しよう！

町議会は誰でも傍聴できます。次の6月議会の予定は下表のとおり。  
生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席にお入り下さい。

令和2年3月議会の傍聴者は  
**4人**でした。



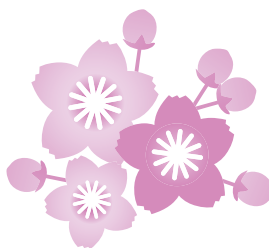
### 6月議会は

日	月	火	水	木	金	土
	6/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

## 住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。  
放映時間は、午後6時からです。



## 人事異動

☆議会事務局  
係長 高橋京美  
(教育委員会から)

松本 円  
(保健福祉課 介護保険係長へ)



# わたしの未来

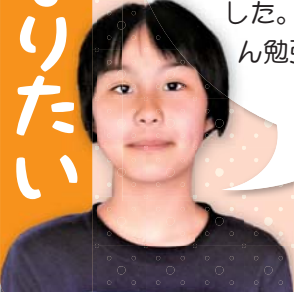
住田町の子どもたちが  
将来の夢を語る

コーナーです。  
自薦・他薦も大歓迎。申し  
込みをお待ちしています。

**保育士になりたい**

私の夢は、**保育士**になることです。  
なりたい理由は二つあります。  
一つ目は小さい子が好きだからです。  
二つ目は私には二才の妹がいます。  
私もよく、妹のめんどうを見るので、  
保育士になりたいと思いました。  
がんばって、たくさん勉強をして、保育士になりたいです。


有住小学校5年  
むら かみ な な  
**村上七菜**  
(上有住字上家)



**めげずぞ！料理人**

ぼくの夢は**料理人**になることです。  
ぼくは料理を作るのが好きで、  
お母さんの手伝いをしたり、  
自分でメニューを考えて作ったりしています。  
住田には、お米や野菜、お肉など  
おいしい食材がたくさんあります。  
それをいかしたお店を住田に  
開いて、住田に来てくれる  
人をふやしたいです。

世田米小学校5年  
こん の たい せい  
**紺野泰聖**  
(世田米字世田米駅)



## 編集後記

広報編集常任委員会  
委員 佐々木 信一

新年度を迎え、桜の花咲くころ、田畑の仕事も徐々に忙しくなる時期になりました。  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議やイベントが中止となり外出制限も余儀なくされる日々となっています。今のところ、岩手には、感染者が出てはおりませんが、早く特效薬が出来ればいいなと思います。

## 表紙の写真



有住保育園



4月8日。有住保育園ぞう組さん（5歳児クラス）4名の歯磨きタイムをのぞき見。  
美味しいおやつをお腹いっぱい食べた後は、しっかりと歯を磨く子どもたち。  
「ちゃんと奥まで磨くんだよ」と声を掛け合いながら、真っ白い歯を見せて笑う、2020年有住保育園のリーダーたちの一コマでした。

## 広報編集常任委員会

発行責任者	議長	滝本正徳
	委員長	菅野浩正
	副委員長	佐々木春一
	委員	佐々木信一
	委員	佐々木初雄
		荻原勝勝
		水野正

